令和8年10月24日(土)
大崎タイムス掲載

鳴子峡をきれいに

東北電力ネットワーク古川電力センター　紅葉シーズン前に清掃

東北電力ネットワーク古川電力センター（佐々木康徳所長）と大崎市内のグループ企業2社は8日、紅葉シーズンが迫る鳴子峡で清掃活動を行った。観光客らに鳴子峡の豊かな自然を楽しんでもらおうと、2005年から毎年この時期に実施している。

参加者は手分けして鳴子峡レストハウス周辺や駐車場、遊歩道などのごみを拾い集めたほか、案内板や標識などを清掃。人の手では届かない街灯や大型の看板は、高所作業車を使って丁寧にごみを除去し、水拭きした。

佐々木所長は「清掃活動を通じ、地域への感謝の気持ちを改めて実感するとともに、つながりの大切さを再認識する機会にもなった。今後もボランティア活動を大切に、電力の安定供給に努めていく」と話していた。

高所作業車を使い大型看板を清掃する参加者